

事務局だより

平成30年10月30日
第 2 号
岩手県学校保健会
養護教諭部会事務局発行

錦秋の候、会員の皆さまにおかれましては、文化祭等の行事でお忙しい毎日をお過ごしのことと思います。季節の変わり目で、体調を崩しやすい時です。どうぞ自愛ください。

第11回 実践研究に関する研修会(報告)



平成30年9月19日(水) 10:00~16:00

講義・ワークショップ

「養護教諭が行う研究

～ 自分の実践を研究にまとめてみよう ～」

岩手県立大学看護学部 講師 大久保牧子 先生

今年度は、平日そして一日の研修会となりましたが、1、2年後に岩手県養護教諭研究大会で発表を控えている地区や採用1、2年目の若い方など、31名での学び合いとなり大変有意義な一日となりました。

午前中は、研究テーマの考え方、仮説の立て方、研究の種類など基本的なことについて学びました。自分が取り組んでいる研究は果たしてどの種類なのか・・・、自分の研究は何を明らかにしたいのか・・・その都度振り返りながら聞くことができました。午後は、それぞれが持ち寄った実践資料、途中段階の研究資料をもとに、研究計画を立てたりパソコンを使って文献検索を行ったりしました。

大久保先生は、それぞれの地区、個人で行っている研究についての悩みや迷っていることを聞きながら、そのヒントを提示してくださるなど、私たちに常に寄り添ってくださいました。



研究は、『狭く深く！』 『自分がやりたいことをやる』

『(ただ実践するのではなく) 仮説が大事！』 こんな言葉が印象的でした。

【感想】

初めて参加したが、研究はとてもやりがいがあり、おもしろいものかとも思うことができた。毎年ただただ児童の実態調査をして学校保健会で発表していたが、研究としてできるものだったことに気づいた。

昨年も参加し、より研究に必要な考え方が深まったように思います。どうしても発表があるからという考えになりがちですが、直前ではなく前もって研究の仕方に触れる機会が必要と思いました。



研究がスタートしたばかりですが、研究計画の吟味が不可欠と強く感じました。しかし、いろいろな考えを出し合って研究が進むことが実感できた充実した一日でした。

自分が何がわかっていないのか何に迷っていたのかに気がきました。

一つ一つの語句の定義や研究の基本についても学ばせていただきました。実践の振り返りにもつながったので、今後も研修を続けていきたいと思えます。

(総務部長 菊地冬美)

第42回 岩手県養護教諭研究大会

会員の皆様にとって実りある研究大会となるよう、実行委員一同、準備を進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

1 期日 平成30年11月22日(木) 9:50~16:10(受付9:20~)

2 会場 盛岡市民文化ホール(マリオス)大ホール

3 内容

(1) 講演

演題 「養護教諭はもっと前に出て話そう～専門職としての話し方を振り返る～」

講師 東北福祉大学教育学部教育学科初等教育専攻 教授 上條 晴夫 氏

(2) シンポジウム

テーマ 「チームとしての学校」の力を高める養護教諭の役割とは

※詳しくは開催要項をご覧ください。

4 連絡事項

(1) 昼食希望の方は、当日9時50分までに、各自で会場の昼食受付で申込みしてください。
(700円・お茶付き)

(2) 当日の受付は10時20分で終了します。それまでに受付されていない方の資料は、講演終了時に地区理事にお預けします。

(3) 書籍販売と物品展示をホワイエで行います。時間は9:20~13:20です。

(4) 研究大会の記録のため写真撮影をします。会報や部会誌に使用させていただくこともありますのでご了承下さい。当日は報道機関も来る予定です。撮影を希望しない方は前もってご連絡ください。

★講師の上條晴夫先生、退職養護教諭会の遠藤巴子先生の書籍をホワイエにて販売します。

【販売時間】 10:10~10:20、12:20~13:20

◇お知らせ◇ ～他県の災害への対応について～

この度の「西日本を中心とした集中豪雨(平成30年7月豪雨)」、「北海道胆振東部地震」により、大きな被害のあった県に対し、役員・常任理事会で対応を協議し、本会として次のような対応をいたしましたので、会員の皆さまにお知らせします。

【西日本を中心とした集中豪雨(平成30年7月豪雨)】

- ・岡山県学校保健会養護教諭部会(会長 東 純子 様宛)
義援金3万円、お見舞い状
- ・愛媛県学校保健会養護部会(会長 谷本 明美 様宛)
お見舞い状
- ・広島市学校保健会養護部会
お見舞い状

【北海道胆振東部地震】

- ・北海道高等学校養護教諭研究会(副会長 齋藤 淳子 様宛)
お見舞い状

岡山県の東会長様からは、「義援金は、床上浸水した学校のために使用させていただきます」と、お礼のお電話をいただきました。また、愛媛県の谷本会長様からも「遠い岩手の地から温かいお言葉が届き、大変うれしく、また励まされました」と、お礼のお手紙が届いています。